

上場会社名 株式会社インテリジェント ウェイブ  
 コード番号 4847 URL <http://www.iwi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井関 司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営管理本部担当 (氏名) 垣東 充 TEL (03)6222-7015

四半期報告書提出予定日 平成 29 年 5 月 10 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 6 月期第 3 四半期の業績 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 6 月期第 3 四半期	6,056	—	522	—	563	—	406	—
28 年 6 月期第 3 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29 年 6 月期第 3 四半期	15.43	—
28 年 6 月期第 3 四半期	—	—

(注) 平成 28 年 6 月期第 3 四半期は、四半期連結財務諸表を作成していたため、前年同四半期実績及び増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 6 月期第 3 四半期	8,333	5,454	65.5
28 年 6 月期	6,944	5,013	72.2

(参考) 自己資本 29 年 6 月期第 3 四半期 5,454 百万円 28 年 6 月期 5,013 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28 年 6 月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29 年 6 月期	—	0.00	—	—	—
29 年 6 月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 29 年 6 月期の業績予想 (平成 28 年 7 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	8,000	11.0	800	9.3	800	6.6	550	7.2	20.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年6月期3Q	26,340,000株	28年6月期	26,340,000株
② 期末自己株式数	29年6月期3Q	12,000株	28年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年6月期3Q	26,338,380株	28年6月期3Q	26,340,000株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。



## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

平成 29 年 6 月期第 3 四半期の国内景気は緩やかな回復基調が続いているとされています。設備投資も増加基調にあるといわれており、国内経済は、回復から緩やかな拡大へ今後転じていくものと考えられています。

こうした経済情勢を背景にして、当社の主要な事業領域であるクレジットカード業界においても大規模なシステム統合や更新のほか、システム開発を中心とした設備投資の件数は増加しており、当社の事業機会も拡大しています。訪日外国人客の増加と 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控えて、キャッシュレス決済の推進やまた、決済手段の多様化を背景とした設備投資案件も増加しており、当社の受注状況は好調さを維持しています。こうした情勢は今後も続くものとみられます。

当社は、このように好ましい事業環境において積極的な事業活動に取り組んできました。

その結果、当第 3 四半期累計期間においては、売上高 6,056 百万円(前年同四半期比 23.9%増)、営業利益 522 百万円(前年同四半期比 21.6%増)、経常利益 563 百万円(前年同四半期比 26.4%増)、四半期純利益 406 百万円(前年同四半期比 41.7%増)と、いずれも前第 3 四半期連結累計期間実績を上回りました。

※当社は、第 1 四半期累計期間より連結財務諸表非作成会社となったため、非連結業績を開示していません。本四半期決算短信定性的情報に記載の前期業績と前年同期比は、平成 28 年 5 月 9 日付けで開示した平成 28 年 6 月期 第 3 四半期決算短信(連結)業績数値によって表示、比較されていますのでご注意ください。

## 【ご参考】

平成 28 年 6 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 6 月期第 3 四半期	4,886	13.6	429	51.7	446	51.9	286	△0.7

平成 28 年 6 月期第 3 四半期連結累計期間 (自 平成 27 年 7 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	金融システムソリューション事業	プロダクトソリューション事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	4,346,962	539,579	4,886,541	4,886,541
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,346,962	539,579	4,886,541	4,886,541
セグメント利益又は損失(△)	456,435	△26,675	429,760	429,760

当第 3 四半期累計期間における各セグメント別の状況は以下のとおりです。

## (金融システムソリューション事業)

金融システムソリューション事業においては、クレジットカード会社や銀行、大手システム開発会社等の企業を主な顧客として、クレジットカードやデビットカード、プリペイドカード等による決済や、ATM(現金自動預払い機)を利用した現金取引を完遂するためのシステム開発業務を行っており、これらのシステムは、カードネットワーク間を接続して取引データの受渡しを行う機能や、カードの使用認証、不正な利用の検知等の機能を顧客企業に提供しています。

カードの決済に係る取引データを取扱うシステムは、高速で間違いのない処理を実現する機能と性能が要求されます。当社は、こうしたシステム開発の技術を活かして、証券会社を顧客として、証券取引に使われる様々なデータの大量超高速処理のためのシステム開発も行っています。

当第 3 四半期累計期間においては、キャッシュレス決済の推進と様々な決済手段に対応するシステム開

発案件に加えて、安全、安心な決済のためのセキュリティ対策を向上させるシステム投資の受注も増加しており、当社の事業機会は拡大しています。

このように好ましい事業環境のもと、スマートフォンを利用したカード決済や、カードブランドの統合によるシステム開発の案件によって、売上高は5,341百万円(前年同四半期比22.9%増)、営業利益は520百万円(前年同四半期比14.0%増)と、業績を伸ばすことができました。

売上を構成するカテゴリ別の実績として、ソフトウェア開発業務の売上高が、3,371百万円(前年同四半期比27.0%増)と伸びたため、システム開発に供用されるサーバー等のハードウェアの販売も835百万円(前年同四半期比56.5%増)と、前期の実績を上回りました。

また、スマートフォン決済のためのネットワーク接続機能を提供する当社製品 OnCore (オンコア) の販売が順調に推移し、開発業務と併せて売上の増加に貢献しました。

銀行やクレジットカード会社に対して、クレジットカードのアクワイアリング業務(加盟店契約業務)システムをクラウド型で提供するサービスの新規事業も、期初計画どおりに第2四半期より開始しており、売上の増加に貢献しています。当第3四半期においては、当社独自のAI技術を活用した製品の開発案件を大手損害保険会社から受注する等、新しい製品やサービスの開発においても成果をあげています。

一方で、平成29年3月に売上を計上する予定であった特定のシステム開発案件の納期を同年5月に延期したため、当初計画を超える経費が発生し、当該案件は不採算化する見込みとなったため、約12百万円の損失見込み額を引当金として計上しました。

第1四半期に別の不採算案件に係る損失を38百万円計上したことと併せて、今期の利益の増加は抑制される結果となり、当第3四半期累計期間の営業利益は520百万円(前年同四半期比14.0%増)となりました。

カテゴリ別売上高実績(百万円)

	前第3四半期 連結累計期間実績	当第3四半期 累計期間実績
ソフトウェア開発	2,654	3,371
保守	605	681
ハードウェア	533	835
当社製パッケージソフトウェア	213	293
他社製パッケージソフトウェア	340	160
計	4,346	5,341

(プロダクトソリューション事業)

プロダクトソリューション事業においては、当社製の情報セキュリティ対策と他社製のサイバーセキュリティ対策のためのパッケージソフトウェアを販売しています。政府機関や企業に対するサイバー攻撃の件数が著しく増加するなか、サイバーセキュリティ対策の商談も国内の様々な業界の企業に対して拡大しています。

当社の情報セキュリティ対策事業は、企業を顧客として、顧客の業務に使用されるPC端末(エンドポイント)のセキュリティ対策製品を取扱うことを主な事業領域としています。

当第3四半期累計期間においては、内部情報漏えい対策の当社製品CWAT(シーワット)の販売に加え、標的型攻撃等のサイバー攻撃を防ぐための対策製品Traps(トラップス、米国パロアルトネットワークス社)の販売が増加したため、売上高は715百万円(前年同四半期比32.5%増)、営業利益は2百万円(前年同四半期は26百万円の営業損失)と、前期実績を上回りました。

カテゴリ別売上高実績(百万円)

	前第3四半期 連結累計期間実績	当第3四半期 累計期間実績
ソフトウェア開発	49	55
保守	108	114
ハードウェア	9	46
当社製パッケージソフトウェア	104	110
他社製パッケージソフトウェア	267	388
計	539	715

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,852,325	2,124,518
受取手形及び売掛金	1,291,967	1,511,682
たな卸資産	264,280	722,950
その他	273,208	646,284
流動資産合計	4,681,781	5,005,435
固定資産		
有形固定資産	400,661	434,990
無形固定資産		
ソフトウェア	267,729	1,035,562
その他	297,595	271,936
無形固定資産合計	565,325	1,307,498
投資その他の資産		
投資有価証券	761,701	1,049,116
その他	622,980	597,633
貸倒引当金	△88,075	△61,629
投資その他の資産合計	1,296,607	1,585,121
固定資産合計	2,262,593	3,327,610
資産合計	6,944,375	8,333,045
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	363,354	616,267
未払法人税等	143,707	250,102
賞与引当金	223,640	338,700
役員賞与引当金	27,400	21,120
受注損失引当金	—	11,751
資産除去債務	—	7,749
その他	614,491	1,041,917
流動負債合計	1,372,593	2,287,608
固定負債		
退職給付引当金	388,906	402,845
役員退職慰労引当金	15,697	18,083
資産除去債務	51,832	54,263
その他	101,691	115,471
固定負債合計	558,127	590,664
負債合計	1,930,721	2,878,272

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	843,750	843,750
資本剰余金	559,622	559,622
利益剰余金	3,436,101	3,684,509
自己株式	—	△6,348
株主資本合計	4,839,473	5,081,533
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	174,180	373,239
評価・換算差額等合計	174,180	373,239
純資産合計	5,013,654	5,454,773
負債純資産合計	6,944,375	8,333,045

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	6,056,794
売上原価	4,487,254
売上総利益	1,569,539
販売費及び一般管理費	1,046,954
営業利益	522,585
営業外収益	
受取利息	789
受取配当金	573
為替差益	3,762
保険解約返戻金	14,040
貸倒引当金戻入額	23,681
その他	2,162
営業外収益合計	45,010
営業外費用	
支払利息	666
コミットメントフィー	3,084
その他	70
営業外費用合計	3,820
経常利益	563,775
特別利益	—
特別損失	
固定資産除却損	3
特別損失合計	3
税引前四半期純利益	563,771
法人税、住民税及び事業税	298,212
法人税等調整額	△140,889
法人税等合計	157,323
四半期純利益	406,447



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。